

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】令和4年4月4日(2022.4.4)

【公開番号】特開2021-61255(P2021-61255A)

【公開日】令和3年4月15日(2021.4.15)

【年通号数】公開・登録公報2021-018

【出願番号】特願2021-1490(P2021-1490)

【国際特許分類】

H 01 R 13/24(2006.01)

10

H 01 R 43/16(2006.01)

【F I】

H 01 R 13/24

H 01 R 43/16

【手続補正書】

【提出日】令和4年3月25日(2022.3.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

上下それぞれの接続対象を電気的に接続するバネコンタクトであって、

第1平面部を有し、上側の前記接続対象に接続される接続部と、

第1平面部の端辺に一端が連続するように形成され、折り曲げによって二箇所以上の屈曲部を設けたバネとして形成された少なくとも二つの帯状部と、

前記帯状部それぞれの他端に連続して形成され、下側の前記接続対象に接続されるベース部と、を備え、

前記帯状部それぞれは、

前記接続部が下方に向けて押圧された際、当該押圧の荷重を均等に受けて、当該接続部が下方へ平行移動するように弾性変形することを特徴とするバネコンタクト。

【請求項2】

上下それぞれの接続対象を電気的に接続するバネコンタクトであって、

上側の前記接続対象に接続される接続部と、

前記接続部の左側に一端が連続し、折り曲げによりバネとして形成された第1帯状部と、前記接続部の右側に一端が連続し、折り曲げによりバネとして形成された第2帯状部と、第1帯状部の他端に連続する第1要素および第2帯状部の他端に連続する第2要素が左右に近接してなり、下側の前記接続対象に接続されるベース部と、が一枚の金属板材を折り曲げて形成され、

前記接続部が下方に向けて押圧された際、第1帯状部と第2帯状部が弾性変形しながら当該接続部が下方へ移動するように形成されると共に、

この移動に伴って、前記ベース部を形成する第1要素および第2要素が平面方向に相対的に位置ずれすることを防止する位置ずれ防止手段を設けたことを特徴とするバネコンタクト。

30

40

50